

① 輸送の安全に関する基本的な方針

当社は、輸送の安全の確保が事業経営の根幹であることを、全役員・全社員の共通認識とし、絶えず輸送の安全性の向上に努めます。

当社は、法令等の遵守と輸送の安全の確保が最も重要であることを理解し、経営トップが率先して輸送の安全確保について主導的な役割を果たします。

当社は、運輸安全マネジメントを確実に実施し、常に客観的目線で継続的改善を継続します。

② 安全目標 【 令和 7 年度 】

人身・車両・物損・車内事故ゼロ

乗務員の健康起因による事故・運行停止ゼロ

車両故障等による遅延、運行停止事案のゼロ

③ 前年度 【 令和 6 年度 】 の目標達成状況

人身・車両・物損・車内事故ゼロ 未達成

乗務員の健康起因による事故ゼロ 0件 目標達成

車両故障等による遅延、運行停止事案のゼロ 0件 目標達成

④ 前年度 【 令和 6 年度 】 の事故に関する統計情報

人身事故 0件

物損事故 2件

車両事故 1件

⑤ 輸送の安全のために講じた施策の実施状況 【 令和 6 年度 】

小型バス 1 台を安全装備の整った最新型に入れ替えます。(年式の古い車両を最新式の車両に入替ました)

コロナ渦に行えなかった救急救命訓練 (AED講習) を行います。(A E D講習を行いました)

健康起因による事故を起こさない為に、今まで以上に診断項目を増やします。(SAS簡易検査、脳MRI検査を行いました)

⑥ 輸送の安全のために講じようとする施策 【 令和 7 年度 】

最新式のデジタコ・ドライブレコーダー機器に取替を行います。(年間 2台~3台)

健康起因による事故を起こさない為に、今まで以上に健康診断の内容を強化

自社訓練の強化

安全運転中央研究所 (ひたちなか市) の外部研修の実施

国土交通省認定 運輸安全マネジメントセミナーへの参加

⑦ 安全統括管理者にかかる情報及び運行管理体制 【 令和 7 年度 】

安全統括管理者	田山 雅一		
運行管理者	正管理者	3	名
	補助者	5	名
整備管理者	正管理者	2	名
	補助者	6	名

⑧ 事業用自動車に関する情報

【 令和 7 年度 】

大型車	4 台
H27年式 2台、H28年式 1台、H29年式 1台	
中型車	2 台
H23年式 1台、H29年式 1台	
小型車	3 台
H18年式 1台、R2年式 1台、R6年式 1台	

⑨ 安全管理規定の閲覧

【 令和 7 年度 】

当社の安全管理規定は、以下の場所で閲覧することができます。

鹿島バス交通株式会社	本社営業所窓口とホームページ
ウェブ上で公開している場合のアドレス	https://kashima-bus.co.jp/

⑩ 輸送の安全に係る情報の伝達体制その他の組織体制

【 令和 7 年度 】

輸送の安全に係る情報の伝達体制その他の組織体制の資料は、以下の場所で閲覧することができます。

鹿島バス交通株式会社	本社営業所窓口とホームページ
ウェブ上で公開している場合のアドレス	https://kashima-bus.co.jp/

★乗務員向け教育記録

事業用自動車を運転する場合の心構え	年間 4 回
事業用自動車の運行の安全及び旅客の安全を確保するために遵守すべき基本的事項	年間 2 回
事業用自動車の構造上の特性	年間 3 回
乗車中の旅客の安全を確保するために留意すべき事項	年間 4 回
旅客が乗降する時の安全を確保するために留意すべき事項	年間 3 回
主として運行する路線若しくは経路又は営業区域における道路及び交通の状況	年間 2 回
危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法	年間 5 回
運転者の運転適性に応じた安全運転	年間 1 回
交通事故に関わる運転者の生理的及び心理的要因並びにこれらへの対処方法	年間 5 回
健康管理の重要性	年間 4 回
異常気象時における対処方法	年間 1 回
非常用信号用具、非常口、消火器の取扱い	年間 1 回
安全性の向上を図るための装置を備える事業用自動車の適切な運転方法	年間 1 回
ドライブレコーダーの記録を利用した運転者の運転特性に応じた安全運転	年間 4 回
労働法の学習	年間 2 回

★管理者向け教育記録

年間2回 教材（ココカラザウルスeラーニング）にて指導を行っている。

★その他教育記録

雪道走行訓練を1月に福島県にて行いました。（5名参加）
事故・車両火災を想定した避難誘導、消火訓練を3月に実施しました。（5名参加）
長い下り坂のブレーキ訓練を3月に行いました。（6名参加）
運転者の能力に応じた教育（6名参加）

ドライブレコーダーの情報を運行管理者が収集し、教育で利用している。

インターネットから収集したヒヤリハット映像を社内で共有して利用している。

自動車事故対策機構（NASVA）の「ドライブレコーダー映像を用いた危険予知トレーニング」を活用

⑬ 監査について

【 令和 6 年度 】

内部監査は、 3 月 に行いました。

内部監査員は経営トップから必要な権限を与えられ、各部門を公正な立場で監査しました。

★当社の監査・マネジメントレビュー文書は、以下の場所で閲覧することができます。

鹿島バス交通株式会社	本社営業所窓口とホームページ
ウェブ上で公開している場合のアドレス	https://kashima-bus.co.jp/

★内部監査の結果

①自然災害が起きた際の想定訓練が出来ていない。

⑭ マネジメントレビューについて

【 令和 6 年度 】

マネジメントレビューは、 3 月 に行いました。

マネジメントレビューには、経営トップ、安全統括管理者、各管理者及び乗務員の代表が参加し、本年度の安全目標、そのための具体的施策について話し合いました。

★監査の結果に基づき、講じた措置及び講じようとする措置

①自然災害を想定した訓練を行います。

以上、当社の運輸安全マネジメントの取り組みについてご報告いたしました。

令和 7 年 4 月 1 日

鹿島バス交通株式会社

代表取締役 田山 雅一